

ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想 素案の概要

50年後を見据えて、道立自然公園野幌森林公園内にある北海道博物館、北海道開拓の村、百年記念塔等の今後のあり方についての基本構想とする。
※今回、道民ワークショップや有識者ヒアリング等をもとに「素案」を取りまとめ

1 基本方針～エリアとしての再生

施設ごとの点としてではなく、自然豊かな周辺地域を含めたエリア全体を対象に、歴史、文化、自然を五感で「体感」し、国内外から訪れる多くの人々と交流できる賑わいのある空間として再生をめざす。

つたえあう、つながりあう。
私たちの北海道ストーリー。



【キーワード】
学ぶ 触れる
集う 繋がる

- 大都市近郊に残された自然豊かな環境がフィールド
- 北海道の歴史・文化・自然を五感で体感できる中核的エリア
- 国内外からも大勢の人が訪れる賑わいのある空間へ



2 主な施設の方向性

(1) 北海道博物館

- ◆ 本道の中核的博物館、道民参画型博物館として、さらなる魅力向上に努める。
- ◆ 2020年に開設される国立アイヌ民族博物館等との役割分担を考慮に入れながら幅広い連携を図る。



(2) 北海道開拓の村

- ◆ 博物館としての役割を基本としながら、国内外からの旅行者をターゲットにした**観光拠点**や、**古民家再生等人材の育成拠点**としての活用を図る。



(3) 百年記念塔・塔前広場

- ◆ 長く道民の皆さんに親しまれてきたが、老朽化に伴う利用者への安全確保や将来世代への負担軽減の観点から、解体もやむを得ないと判断し、**維持コストにも配慮した新たなモニュメント**（※）を配置した交流空間とする（発展的継承）。

※はるか太古から綿々と続く本道の歴史・文化と、今日の北海道を築き上げてきた幾多の先人の思いを引き継ぐとともに、お互いの多様性を認め合う共生の立場で、未来志向に立った将来の北海道を象徴するもの

(4) 野幌森林公園・近隣施設との連携

- ◆ 良好な自然環境を保全するとともに、安心して利用できる環境づくりを進める。
- ◆ 周辺の文化・スポーツ施設等と連携を図ることにより、より魅力的な交流空間として再生する。



3 今後のスケジュール

議会議論やパブリックコメントを踏まえ、年内を目途に構想として策定する。

※パブリックコメントの実施期間：平成30年9月11日（火）～10月10日（水）